

ディンプルポスト

リース品

親網支柱(第1種合格品)

販売品

[(一社)仮設工業会認定品]

墜落時の衝撃を吸収する
ディンプル構造です。



警告

◆使用時の注意事項

1. 設置取付前の確認。以下の事項を点検し異常のないことを確認して下さい。もし異常があった場合は使用しないで下さい。
 - ①各部分の変形、摩耗等の有無
 - ②取付金具等取付部の作動の異常の有無
 - ③緊締器の機能の異常の有無
2. 損傷がなくとも鉄骨フランジに支柱取付部を差込、固定ボルトをしっかりと締付けて下さい。[締付けトルク: 6,000N(612kgf・cm)]
3. 支柱のスパンは10m以下にして下さい。
4. 支柱を設置した作業床と床面または機械設備等との垂直距離に応じて使用できる支柱のスパンLはL=4(H-3)mとします。Hは作業床と衝突のおそれがある床面または機械設備等との距離。ただし、Hは3.8m以上を確認して下さい。
- 5.必ず1スパン一人で使用して下さい。

ホリーエンジニアリング株式会社

DIMPLE
ディンプルポスト
兼用

親網類

ディンプルポスト 兼用型(平行・直交)

(HO-980K)

新開発「ディンプルポイント」が親綱とともに人体落下の衝撃を吸収。

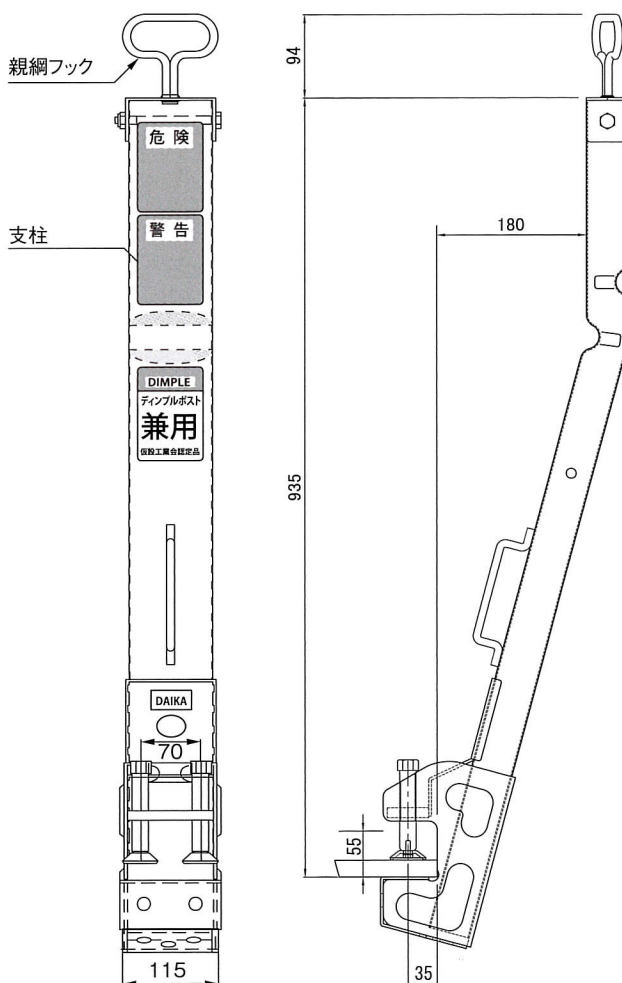
親綱類



特長

- 1.ディンプルで衝撃吸収。高い安全性です。
- 2.兼用型で鋼製なのに8.7kgの軽さです。
- 3.開き角度15度により作業性、安全性を向上致します。
- 4.平行方向、直交方向に使用できる兼用型です。

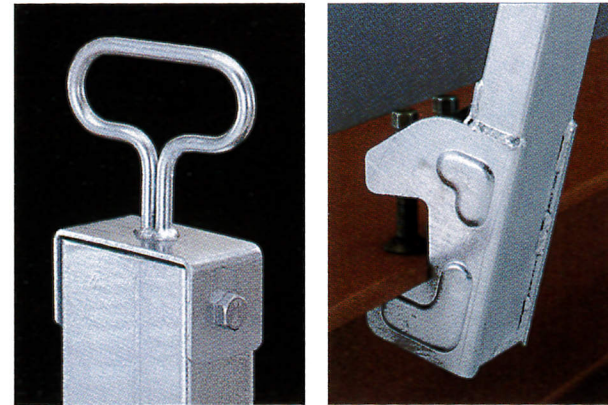
仕様



「ディンプルポイント」により衝撃を吸収。15度の角度により作業性も抜群です。



支柱本体には15度の角度をつけてあります。これによって、梁上での歩行がよりスムーズとなり、作業性や安全性が一段とアップしました。垂直な支柱に比べ、ディンプルポストの方が通行しやすいことがわかります。



衝撃を和らげる効果を持たせた「親網保持金具」です。スプリング効果がある「座金」がボルトの軸力を確実に伝えます。

「ディンプルポイント」とは…

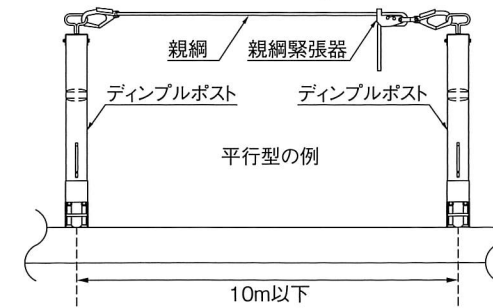
親網支柱が大きく曲がっている箇所があります。この場所が「ディンプルポイント」といい、親網から伝わる衝撃荷重を吸収し、掴み金物部への負担を和らげます。さらにH型鋼から親網支柱が外れるのを防ぎ、下で作業中の方への二次災害を防止します。



使用上の注意事項

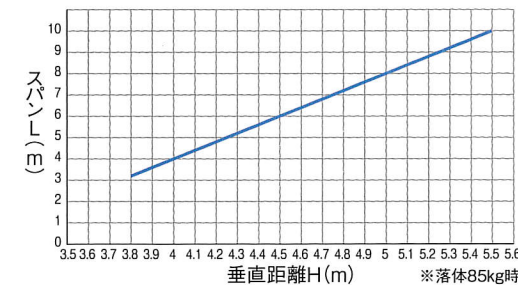
親網支柱

1. 設置取付前の確認。以下の事項を点検し、異常のないことを確認して下さい。もし異常があった場合は使用しないで下さい。
 - 各部材の変形、摩耗等の有無
 - 取付金具など取付部の作動の異常の有無
 - 緊張器の機能の異常の有無
2. 隙間がなくなるまで鉄骨フランジに支柱取付部を差し込み、固定ボルトをしっかり締め付けて下さい。
[締付けトルク: 6.00kN (612kgf·cm)]
3. 支柱のスパンは10m以下にして下さい。

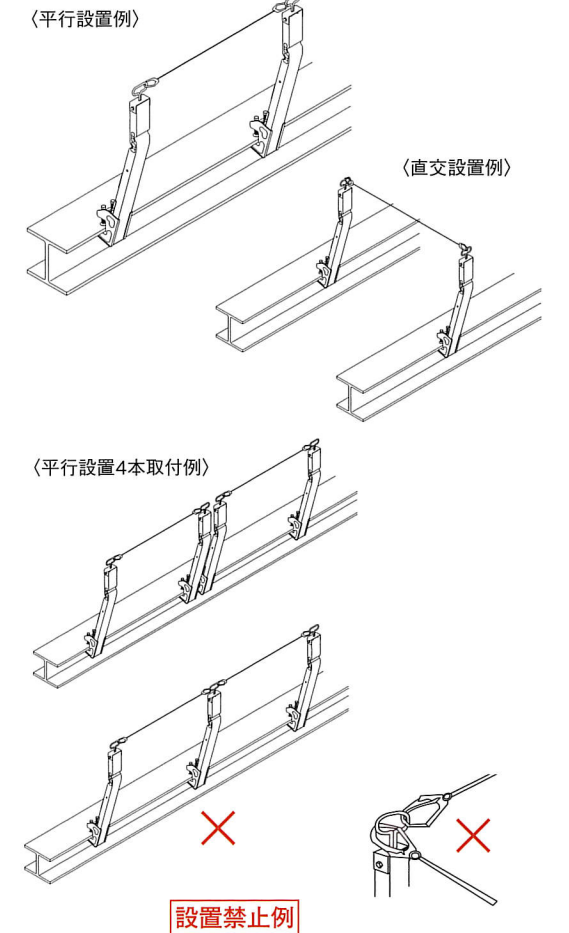


4. 支柱を設置した作業床と床面または機械設備等との垂直距離に応じて使用できる支柱のスパンは $L=4(H-3)$ m とします。Hは作業床と衝突のおそれがある床面または機械設備等との距離。ただし、Hは3.8m以上を確保して下さい。

【スパンと垂直距離の関係】

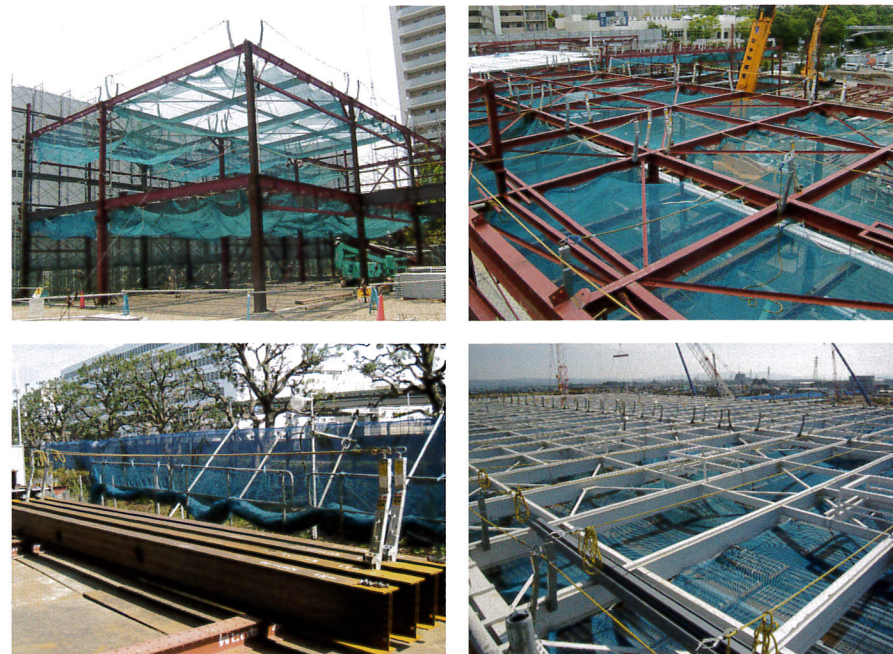


5. 兼用型
平行方向 直交方向の両方の位置で使用できます。但し1スパン1人で使用して下さい。1本の支柱に対して2人以上は使用できません。



設置禁止例

使用例



使用禁止例

例1. 安全ブロック取り付け禁止



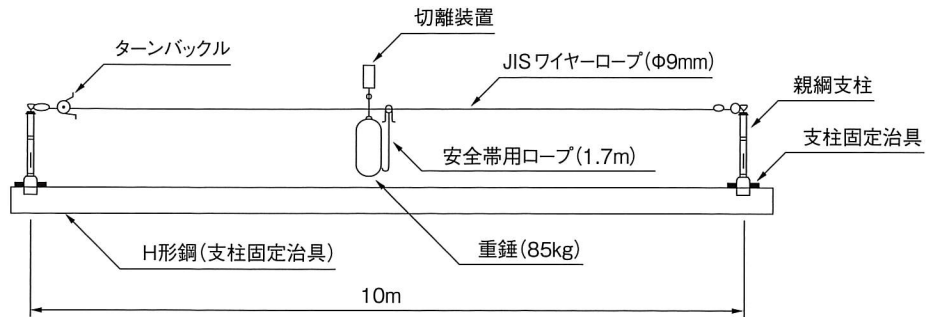
例2. 被覆ワイヤー取り付け禁止



⚠ このように使用しないで下さい。親網以外の商品は取り付けないで下さい。

親網支柱認定試験

親網支柱には、落下阻止性能試験があり、図のようにして錘を自由落下させたとき、「親網支柱各部に折損および亀裂なく、かつ、支柱がH鋼から離脱しないこと」「親網支柱の頭の金具(親網保持金具)から親網が外れないこと」が認定合格条件になっています。



ディンプルポイントが衝撃荷重を吸収し、人体への負担を軽減します。

※平行方向のみ100kgまで対応可能(当社試験)。

◎認定合格証



付属商品



親網(片フック)



親網緊張器(SMS16)